



地域の『力』を活用する「道の駅 あぐり窪川」

「道の駅 あぐり窪川」は、高知自動車道須崎東ICから国道56号を西に車で約40分、国道381号の分岐点近くに位置しています。高知県下で初めて国（現国土交通省、旧建設省）と町が一体となって整備を行い、平成11年4月に開業しました。

「道の駅」がある四万十町窪川地区は、標高約230mの盆地状をなす台地部で、最後の清流といわれ清純な姿を見せる「四万十川」の流れなど、四季折々を通じて多彩な景観を生み出しています。

農業を中心とした一次産業を基幹とし、昼夜の温度差が大きく霧が多発する台地部では「仁井田米」という良質米が生産され、畜産も県下有数の歴史と規模を誇っています。

■地場産品を活用した商品開発

「道の駅 あぐり窪川」は、「地場産品に手を加えて一層おいしく食べてもらおう。」という発想から生まれ、「窪川まるごと召し上がれ」をテーマに、商品づくりに励んでいます。

開業当初から製造販売している主力商品に、豚まんとアイスクリームがあります。地元の窪川ポークを使用した「豚まん」は、高知県地場産業奨励賞を受賞。店頭販売のほか、量販店やコンビニ等での販売も増加してきています。

アイスクリーム製造所「みるく工房」では、地元の搾りたて生乳を使用し、生姜、きな粉、豆腐などの地場産品を取り入れたアイスクリーム（14種類）を製造販売しています。

また、快水浴場100選に選ばれたきれいな海水から時間をかけて結晶化させた旨みのある塩「黒潮伝説」、この塩を使用した窪川ポークの燻製シリーズ、「仁井田米」を使用した「こめ粉ぱん」を始めとする菓子類等、地場産品にこだわった商品開発を行っています。

■地元シルバー人材センターの皆さんに支えられた「道の駅 あぐり窪川」

「道の駅 あぐり窪川」のトイレの清掃をはじめとする施設内の清掃やゴミの分別等の日常業務は、地元シルバー人材センターに委託しています。

現在、分類別ゴミ箱を設置し、多くのお客様にゴミの分別にご協力いただいておりますが、空き缶とペットボトルや可燃ごみ等の入った口をきつく縛ったレジ袋が入れられていたり、可燃物用ゴミ箱に空き缶や飲み残しのペットボトル等が混入していることがあり、全て手作業で分別しているのが現状です。

このように、シルバー人材センターの皆さんの地道な作業のおかげで、お客様に気持ち良く施設をご利用いただけるのです。

